

しるべ

手稲東中学校だより

第11号 令和元年11月29日

札幌市立手稲東中学校

札幌市西区西野2条5丁目3番1号

電話 661-3363 FAX 661-3858

<http://www.teinehigashi-j.sapporo-c.ed.jp/>

「驚きの歌声」 ～合唱コンクールを終えて～

音楽科 小林 まや

4月にこの手稲東中学校に赴任して、初めての合唱コンクールを経験させていただきました。合唱で有名な学校なのでとても楽しみにしていましたが、予想を大きく超える感動を味わうことができました。コンクールの1月前から本格的な活動が始まりましたが、特に音楽の授業を通しての「驚きの感想」をいくつか、お話をさせていただきたいと思います。

○夏休み前から始まった自由曲選びでは10曲以上の候補曲を聴きます。その時の生徒の皆さんの真剣さには本当に感心しました。静まり返った音楽室で1曲1曲メモを取りながら熱心に聞くことで、その後の「自由曲を大切にする気持ち」が培われるのだと感じました。

○伴奏者、指揮者の熱心な取り組みにも、感心しました。毎時間の授業が終わってからの熱心な練習に加えて、コンクールが近づくと昼休みにも先生に質問に来たり、音楽室で一生懸命練習したりする姿が多く見られました。

○授業が始まる前の約10分間の発声練習は、クラスのリーダーたちの大切な取り組みの一つでした。2・3年生の皆さんはこれまでの経験を生かして比較的スムーズに練習を開始できていたようで、『さすが先輩たちは違う!』と感心して見せてもらいました。1年生は最初は慣れない様子で、みんなの前で大きな声を出すのも大変そうな人が多く、心配しました。しかし、1週間を過ぎるころから徐々に慣れてきたようです。リーダー同士で相談して進め方を工夫するなど、この1月の間に大きな成長が見られました。ただ、どの学年のリーダーたちも、悩んだり苦しんだりする中でクラス全員の気持ちを大切にしながら合唱を高めていった努力には心から敬意を表します。リーダーたちの活動が高いレベルで立派に機能していることに驚きました。

○東中の合唱は「ただ大きな声で歌う」というのとは大きな隔たりがありました。正しい発声によってつくられる「豊かに響く声」が根底にあり、その上で細かい曲づくりを行うのです。一つひとつの言葉を大切に「どのように表現するか?」「どう言葉を伝えるか?」「そのためにはどんなふうにか?」という「音楽づくり」が行われていました。コンクール当日はもちろん、授業や練習の中で、生徒の皆さんの純粋にひたむきに努力する姿をたくさん見ることができました。コンクールですから賞があり順位はつくのですが、皆さんの真剣で粘り強い努力には順位をつけることができないと思いました。

最後になりますが、コンクールにおいて、合唱部の人たちの献身的な努力と活動は、東中の合唱の大きな財産であることを強く感じました。東中の合唱の伝統が、今後も脈々と引き継がれるであろうことを強く感じた合唱コンクールでした。皆さん、本当にご苦労様でした。良い合唱をありがとう!

合唱コンクール 結果

どの学級も、すばらしい合唱を創り上げようと団結し、真剣に取り組んでいました。合唱の審査基準により以下のように賞が決まりました。大きな力の差はなく、審査員も悩んでいました。

1学年	最優秀賞	2組	優秀賞	3組
2学年	最優秀賞	3組	優秀賞	2組 5組
3学年	最優秀賞	4組	優秀賞	1組 5組
	カインドハート賞	7組		

指揮者賞 ～ 久万田 亘くん(3年1組)、 原 琉之介くん(3年4組)

1年2組 永原 灯偉くん

初めての合唱コンクールで、2組は最優秀賞をとることができました。これはクラスみんなのおかげです。10月に練習が始まり、プロジェクトの人は特に気合が入っていました。真剣に取り組むプロジェクトの人に対し、クラスみんなの目も真剣でした。その姿に衝撃を受けて、さらに活動に力が入っていきます。練習が始まってしばらくすると、だらけたりふざけたりする人が多くなり、雰囲気が悪くなることもありました。そんな中で、プロジェクトの人が何とか真面目に練習したいと思い注意することで、雰囲気が良くなり、団結していきました。今回の行事では、協力の大切さを学びました。誰か一人でも、違ったことをすればこの最優秀賞には届かなかったと思います。この2曲はまさに一音同体でした。

2年3組 大原 伊織くん

僕は今回の合唱コンクールを通してたくさんの成長やまとまりを感じました。最初の頃は危機感もなく、あまり集中している人がなくて、練習が進みませんでした。その中でも課題曲交流会では1位をとってしまいました。それまで練習をしっかりやっていた人も、少し調子に乗って練習がダラけていきました。その後、自由曲交流会で1位を2組にとられてしまいました。ここからだんだんみんなが最優秀賞に向けて真剣に練習に参加するようになり、クラスが一体となってまとまってきたように思います。本番までの1週間で、みんながどんどんうまくなって行って、最優秀賞に近づいていくように感じました。そして本番の朝、最後の仕上げでベストを確認し、最優秀賞をとれたので良かったです。みんなのまとまりを感じました。

3年4組 成田妃樂さん

4組が最優秀賞と知った瞬間、私は飛び上がってしまうくらい喜びました。中学校生活の中で、おそらく1・2番に嬉しかったことだと思います。私はその時、これまであきらめずに練習して良かったと思いました。3年生ともなると練習の集中力が違うだろうとは思っていたのですが、最初は良くなく、練習も早めに切り上げていました。課題曲・自由曲交流会でも1番にはなれませんでした。少し焦りを感じ、テスト後は練習時間も伸ばし、少しずつ力をつけていきました。コンクール当日は全員協力して最大限の力を発揮し最優秀賞。あきらめずに取り組めば、結果はついてくるものだと実感しました。この経験は受験勉強にも生かせそうです。プロジェクト長の自分に最後まで協力してくれたみんなに感謝します。一緒に最優秀賞を取れたのが4組のみんなで良かったです。

1年7組 江橋 信春くん

初めての合唱コンクールは、緊張と不安がいっぱいだったけど、最後は生徒みんなで校歌などを歌ってとても盛り上がりました。発声の練習の時は、先生に「口を大きく開けて」と言われたけど、僕は歌うことが苦手で嫌い。だけど自分なりに頑張ることができたので、自信につながりました。気をつけたことは、指揮者を見ることです。下を見ないで、前を見て堂々と歌いたかったです。音楽の時間の振り返りで、ビデオを見ました。練習の時に意識していたけれど、僕だけ下を向いて歌ってしまったので残念でした。全体のハーモニーは揃っていたので、嬉しく思いました。7組はカインドハート賞をもらいました。来年も賞を取れるように頑張りたいです。

12月の行事予定

日	曜	主な予定
2	月	全協 安全衛生の日
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	A金③④⑤⑥道道(全校道徳)
9	月	A木曜授業 学校徴収金再引落
10	火	食育学活(6校時)
11	水	
12	木	A月①②③④募金活動①
13	金	A金①道④⑤募金活動②
16	月	A月①②③④募金活動③
17	火	A火①②③⑤募金活動④
18	水	A木①②③④
19	木	A水曜授業
20	金	3年学年末テスト(技家・保体)
23	月	期末清掃① 職員会議 <input type="checkbox"/> 完 <input type="checkbox"/> 再
24	火	A金①③④⑤道(情報モラル)⑥ 期末清掃②
25	水	A水②③④⑤・終業式・学活(6校時) 3年テスト範囲発表(国数社理英)
26	木	冬季休業日 ~1月13日 学校徴収金引落 12月30日

学期末懇談
 12~18日 14:00~
 4時間授業
 給食あり 完 再

完 完全下校 再 再登校 16:30

中体連 新人戦 結果

剣道 11月3日 白石区体育館
 男子団体 準優勝
 個人 及川 友希君(2-5) ベスト8
 木下 楓人君(2-2) ベスト16